

令和6年度 事業報告

社会福祉法人 まくはり福祉会

保育士不足がニュースになる中、当法人も採用活動を開始したが、例年より困難な状況に直面した。そこで、学生さんに合わせて見学、面接などの時間帯を柔軟に対応し、採用活動を行った。実習生さんを受け入れた養成校との連携で何とか、新卒者3名、中途採用者2名のスタッフを採用することができた。朝夕のパートさんも知人の紹介などから、2名の採用ができ、まくはり福祉会のスタッフは総勢50名となりスタートすることが出来た。

5月に共同保育が始まるときには、やはり転勤になり分かれて働くことが寂しいという雰囲気になったが、「(幕張と弁天) 離れていても心は一つ」とみんなで集まり、お別れ会をして、大人も子どもも泣いたり笑ったりの会となった。

今年度は副園長、副主任を配置し、次年度運営できるよう職員配置をした。

夏は暑さに悩まされることが多かった。暑さ対策はこれから重要と考える。プールを準備はしたが、外に出ることすら難しい状況であった。来年度からのプールは検討事項である。運動会の練習も9月より始まるが、暑さがなかなか収まらなかった。ボディペインティングは是非やりたいという職員の声から、9月20日に実施した。今後の夏の行事は検討していかなければならないし、環境の改善も検討していかなければならない。

弁天はすのこ保育園の準備は大変な面もあったが、話し合いを大切にして、進めて行った。途中、悩んだ職員もいたが、それぞれが活躍できる場で働くことが幸せであるという考えで、思いを受け止め、配属を変更するなどの対応をとった。

幕張いもっこ保育園の園舎は、近い時期に修繕を検討していたが、雨漏りなどの早急に対策をしなければならぬ箇所も出てきたので、12月に本園外壁の塗装を行った。外壁の色は、職員の意見をアンケートで聞き、テラス部分などに、その色を取り入れた。

弁天はすのこ保育園への準備時期は試行錯誤ではあったが、予定通りに建設が進み、2月末には引き渡しとなった。その後は一か月で新園準備を行った。弁天保育所の職員さんも親身になってくださり、良い雰囲気の中、引き継ぐことが出来た。

本園3F会議室は、開園準備室として使い、職員同士顔を合わせた時は声を掛け合い、励まし合い進めて行くことが出来た。スタッフの資質が思いやり溢れることから、新しいことに挑戦でき

たを考える。

なかなか経験できない一年であった。新園開園の準備をしながら、幕張いもっこ保育園の良さを多々感じた。チームワークが良く、思いやり溢れる職員の資質は当法人の誇れるところである。これからは、幕張いもっこ保育園と弁天はすのこ保育園とで協力し合い、職員が働きたくなる職場環境を整え、運営していきたいと考える。

1. 法人の理念

地域で頼られ、役に立つ法人

2. 保育理念

- ・ひとりひとりを大切にする
- ・出会いを大切にする
- ・本物に出会う
- ・道徳心を培う

3. 保育目標

- ・心もからだも健やかな子ども
- ・よく考え行動し、やりぬく子ども
- ・よく遊び豊かな感性と創造性にあふれる子ども

4. 保育方針

- ・子どもの発達、特性を理解し一人ひとりが落ち着いた環境の中で安心安定した日々を送られるよう配慮する。
- ・保護者との連携を密に、共に育て学ぶ姿勢を共有する。
- ・全職員で日々の出来事を共有し豊かな保育実践を目指す。
- ・食事は楽しく食べることを基本とする。
- ・地域とのつながりを大切に、様々な出会いに感謝する。

5. 施設運営

(1) 児童の処遇

ア 年齢別園児数 (R7.3)

年 齢	園児数	担当保育士数
0 歳	9 名	2 名 看護師 1 名
1 歳児	2 0 名	4 名
2 歳児	2 7 名	6 名

3 歳児	2 8 名 ※要配慮児 3 名	3 名
4 歳児	2 8 名 ※要配慮児 1 名	2 名
5 歳児	2 3 名 ※要配慮児 2 名	2 名
合 計	1 3 5 名	

イ. クラス編成(R6.4)

年 齢	クラス名	園児数	担当保育士数
0 歳	もも組	9 名	3 名
1 歳児	りんご組	1 0 名	2 名
	ばなな組	1 0 名	2 名
2 歳児	みかん組	1 4 名	3 名
	めろん組	1 4 名	3 名
3 歳児	うさぎ組	2 8 名 ※要配慮児 3 名	3 名
4 歳児	きりん組	2 8 名 ※要配慮児 1 名	2 名
5 歳児	ぱんだ組	2 3 名 ※要配慮児 2 名	2 名
合 計		1 3 6 名	

ウ. 月別保育予定日数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合 計 2 9 3 日
2 5	2 4	2 5	2 6	2 6	2 3	
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	
2 6	2 4	2 4	2 3	2 2	2 5	

エ. 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- 〔1〕 日常養護・健康管理
- 〔2〕 病気の予防と早期発見
- 〔3〕 安全と事故防止

〔４〕健康増進と保健指導

〔５〕環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科検診	全園児 年２回
身体測定	全園児 月１回
歯科検診	全園児 年１回
尿検査	４歳児以上と３歳児９月生まれまで 年１回

オ．主な行事

- ４月 内科健診・クラス懇談会（０．１歳児クラス）
 - ５月 芋苗植え・３、４、５歳児園外保育（おにぎり遠足）・歯科健診
幼児 保育参加+参観、給食参観
 - ６月 乳児 保育参加+参観、給食参観
 - ７月 プール開き・夏祭り
 - ８月 プールしまい
 - ９月 災害引き取り・引き渡し訓練・親子運動会（３歳児）
 - １０月 運動会（４．５歳児）・内科健診・芋煮会
 - １１月 ３歳児、４歳児、５歳児園外保育（遠足・卒園遠足）・個人面談～１月頃
１才児、２歳児ふれあい遊び
 - １２月 ０才児ふれあい遊び・お楽しみ会・お餅つき
 - １月 お正月遊び
 - ２月 発表会（学年ごと）・豆まき（節分）
 - ３月 卒園式・お別れ会
- ※月例行事 誕生会

カ．食事

〔１〕目標『楽しく食事をする』

配慮事項・ 薄味、和風献立に心がける

- ・ 旬の素材を使った献立作りを心がける
- ・ 見た目においしく、食べておいしい食事作りを心がける
- ・ 保護者との連携を密にする

〔２〕栄養管理

千葉市の基準に沿って献立を作成し、毎日の献立の栄養を計算し記録する

〔3〕給食 直営にて提供する。

- 毎月 予定献立表の配布（幼児食・アレルギー幼児食・離乳食）をする。
食に関わる情報を提供する。
- 給食だより 献立表配布の際に食事の紹介や栄養情報などをまとめ、月1回発行する。
- 媒体 年長児を対象に食品を働きにより赤黄緑のグループに分けることを学ぶ媒体を作り、手作りのパネルシアターにより実演し、バランスの取れる食事の選び方を学ぶ。
- 食を考える 給食会議にて子どもの食事の状況、離乳食の移行時期、献立についての感想や反省、改善などや提供された食事の感想・反省、改善案などを出し合い、よりおいしい食事作りに取り組む。また、食育を含め食全般についての勉強、話合いの場としていく。日々の食事の様子を各クラスで話し合う。
- 保護者との連携 ルクミーで毎日の献立の写真を送信し伝える。

〔4〕衛生管理

- 衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目に沿って確認する。
- 調理人の細菌検査（毎月2回 職員1回）、調理室・乳児調理室の掃除、ワゴンの清掃（毎日）、冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風車にて保管原材料・調理済み食品の保存（2週間）をしていく。

〔5〕栄養給与目標（給食・おやつでとりたい栄養量の目安）

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミンA μ g	B 1 mg	B 2 mg	C mg
3歳未満児	521	19.7	12	229	2.6	220	0.26	0.3	20
3歳以上児	633	23.7	13.3	273	2.3	258	0.34	0.39	23

〔6〕離乳食について

- 個人差を考え、家庭との連携のもと、無理のない離乳食を進めてゆく。
- 離乳食（完了食）までは個人にあった食事を提供していく。アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子供の症状により対応し、必要により除去解除できるようにしていく。

<離乳食の進め方>

- ①食べやすい形で・・・子どもの状態にふさわしい形で与える。手づかみ食べを十分にし、噛める子供に育てる。
- ②栄養と食品のバランスを考えて 無理のないように進めていく。
- ③家庭で食べたことのあるものから始める。
- ④薄味で・・・調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理する。
- ⑤食が広がるよう家庭にも働きかけてゆく

〔7〕アレルギー児の食物対応

アレルギー児については、入園時に「食物アレルギー対応面接」を実施し、医師による診断や「保育所生活管理指導表(アレルギー用)」をもとに、保護者との詳細な打ち合わせのもと、アレルギー源の除去や除去の解除を実施する。また、誤食がないように食事提供時に栄養課と保育士が食事内容を確認し、食事の提供を実施する。

キ．安全管理

交通安全教育

非常災害時の防災訓練（月1回）

引き渡し訓練の実施（9月2日）

6．職員の処遇

ア．職員構成

園長	1名
副園長	1名
主任保育士	1名
副主任	1名
正規保育士	16名（育児休暇1名）
看護師	1名 ※1月よりもう1名採用
パート保育士	17名（有資格者11名）
事務員	1名 ※10月よりもう1名採用
栄養士	1名
調理員	5名（栄養士・パート含む）※1月より調理員もう1名採用
嘱託医	2名（非常勤）

イ．健康管理

健康診断 年1回

細菌検査 園長・保育主任・0歳児担当・給食担当者基本月2回
その他職員は3か月に1回

ウ．職員会議

職員全体会 年4回程度（4月、7月、12月、3月）

朝礼 ルクミーを通じて行う

年齢別会議 随時

リーダー会議 随時

給食会議 月1回

エ．研修計画

市・民間研修会に積極的に参加する

職場内研修 必要に応じ実施（外部講師依頼）

新人研修 必要に応じて対応

園内保育研修 年2回以上

その他千葉市保育協議会、千葉市民間保育園協議会等の研修に積極的に参加する

オ. 退職・福利厚生

福祉医療機構退職共済制度加入

勤務一年後希望にて千葉県社会福祉施事業共助会に加入

7. 施設管理

（1）備品関係

ア. 備品の購入

必要により

イ. 保育用品の購入

必要により

ウ. 給食用品の購入

必要により

（2）災害対策

ア. 避難・消火訓練

月1回

イ. 防災設備の点検委託

年2回（うち届出1回）

ウ. 非常食糧の備蓄

（全児童数＋全職員）×3食×（1日～3日）分

8. 保護者に向けて

（1）保育への理解と協力の促進

ア. 保護者会

クラス担任紹介やクラス方針、クラス目標などは、保育参観後に行うまたは動画配信

イ. 保育参観

保育参観は、5、6月中に2日間実施する。乳児はこっそり参観の後、保育参加・保育参観をして子どもの様子を知らせていく。参観中に懇談会を行う。

乳児のみ保護者用に給食の試食提供。

ウ. 個人面談

個人面談は、10月から1月に期日を決めた日にクラス担任と保護者による話し合いの場を設ける。必要によりいつでも対応する。

エ. お知らせ

園だよりを月1回、クラス便りを年4回発行する。

保健だよりを毎月発行し、園内にも掲示していく。

献立表（離乳食・幼児・アレルギー給食だより）月 1 回発行

緊急連絡等はルクミーやホームページによりお知らせする。

9. 地域社会との連携

地域の方々交流を図るとともに、地域交流事業を実施する。

近隣の小規模園と提携を取る。園庭開放、2 歳児クラスと遊ぶなど

近隣の方の子育ての相談などにも対応していく。